様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その１）

警 察 署 協 議 会 会 議 録

若松警察署協議会

開催年月日時	令和３年６月２５日　午後４時００分　から 令和３年６月２５日　午後５時３５分　まで	
開　催　場　所	若松警察署３階大会議室	
出　　席　　者	警察署協議会	会長以下９名
	警　　察　　署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長

議　事　概　要

【会長挨拶】
　今年度から会長として本協議会をリードし、協議会委員、若松警察署幹部から、若松警察署運営に寄与する意見を多く引き出していきたいと考えている。
　引き続き委員の皆様の御協力をお願いする。

【署長挨拶】
　新型コロナウイルス感染症に係る状況は、現在も予断を許さない中、本日警察署協議会を開催していただき感謝する。
　若松警察署管内の治安情勢は、現在比較的安定しており、これも協議会委員の皆様をはじめとした市民の皆様の御協力によるものと認識している。
　本日の警察署協議会での御意見、市民の皆様の御意見を拝聴し、警察活動にいかすとともに警察署運営の参考にさせていただき、安全・安心な若松区を体感できるよう寄与していくことから、今後も御支援・御指導をお願いする。

【新委員紹介】
　本年度から若松警察署委員に委嘱された新委員が自己紹介を行った。

【報告事項】（署長）
１　令和３年１月から３月の若松警察署管内の治安情勢について
（１）犯罪発生状況（刑法犯認知件数）
　　昨年同期と比較し、刑法犯認知件数は増加しており、その要因として自転車盗の多発が挙げられる。
　　しかし、昨年まで右肩上がりで増加していた万引きについては、警察署協議会の委員の皆様の御意見を参考にさせていただき、「店内放送による万引き防止

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要
の呼びかけ」「万引き防止を喚起するＰＯＰの掲示」等の施策を管内スーパー、コンビニエンスストア等に働きかけた結果、発生件数は減少した。 　また、殺人、強盗等の凶悪事件の発生はなかった。 （２）交通事故（人身事故）の発生状況 　前年同期と比較し４件増加。 　当署管内で発生した交通事故の特徴として、国道１９９号及びその交差点付近、朝・夕の通勤時間帯の発生が顕著であり、現在、多発箇所、時間帯に重点を指向した交通指導取り締まりを強化中である。 　その他、ひびき臨海工業地帯の発展により、付近道路における通勤中や業務中の交通事故も頻発している。 　交通死亡事故の発生はなし。 （３）非行少年 　少年による自転車の窃盗事案の発生を受け、刑法犯発生件数は昨年比増加となった。 　喫煙や深夜徘徊等の不良行為少年に対する少年補導件数は減少している。 （４）児童虐待 　子どもが両親の喧嘩に居合わせた場合等、児童に対する直接の暴力がなくても面前ＤＶとして児童相談所に全件通告している。 　育児放棄（ネグレクト）、児童に対する暴力事案の認知はなし。 　今後も、北九州市、児童相談所と緊密な連携を図り、最悪な事態の未然防止に努めていく。 ２　青葉台南主婦殺害事件の解決に向けた情報収集活動について 　平成１３年６月２９日に青葉台南の主婦　関岡晴美さん（当時３４歳）が何者かに刃物で殺害される事件が発生し、間もなく２０年を迎える。 　福岡県警察では、これまでに１０万人以上の捜査員を投入し、捜査を継続しているが未だ解決に至っていない。 　晴美さんは当時、夫と小学生の８歳の長女、幼稚園児の４歳の息子の４人暮らしであった。 　被害者及び突然母親を失った子どもたちを初めとした御遺族の想像を絶する無念を思い、大変心が痛む。 　犯人に必ず法の裁きを受けさせるため、現在も強力に捜査を推進中である。 　晴美さんを殺害後、犯人が晴美さんから窃取したカードを使用して現金を引き出した遠賀郡水巻町の商業施設付近で、発生日の６月２９日を中心に、チラシを配布して情報提供を呼びかけるとともに、若松区役所、商店街、町内会、その他施設管理者等に本件ポスターの掲示を依頼する等の広報活動のほか、改めて発生現場等付近での聞き込み等の捜査活動を展開しており、遠方に所在する情報提供者の耳目に触れるよう、テレビや新聞などの広報媒体への働き掛けも行っている。

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要
【諮問事項】 １　警察官採用受験者の募集方策 　９月１９日に本年第二回目の警察官採用試験を予定しており、応募期間は８月１３日から９月２日となっている。 　優秀かつ能力の高い者を採用するためには、試験の競争率を上げることが重要である。 　少子高齢化で就職適齢人口の減少は今後も続くことから、警察では創意工夫を凝らした採用勧奨活動を展開中である。 　受験生のなかには、民間企業や他の公務員を第一希望とする者も多い。 　このような特殊事情等を踏まえ、多くの受験者を確保し、競争倍率を向上させるため、現在福岡県警察では、就職サイト、合同説明会、募集イベント、インターンシップ、大学・高校の就職課、ハローワークに募集を呼びかけ、警察署独自のリクルーター制度、ホームページへの記事掲載、卒業校への訪問などの勧奨活動を行っている。 　一人でも多くの受験者を獲得し、優秀な人材を確保するための方策についてお伺いする。 ２　災害時における警察署代替施設の選定 　大雨による山崩れ、大規模地震、津波、高潮、その他予測できない大規模災害により若松警察署の施設が使用不能に陥った場合であっても、治安維持という警察の責務上、若松警察署の機能を維持する必要がある。 　万が一の事態に備え、施設が復旧するまでの間、代替施設で警察機能を維持するため、事前に施設の管理者等と協議する必要があることから、候補となる施設についての御意見をお伺いする。 ～委員のみで約２０分間諮問事項等について検討～ 【答申】 １　警察官採用受験者の募集方策について ○　警察官のＯＢ、ＯＧが卒業校を訪問する出前式の勧奨活動を数多く行い、接触の機会を多く設け、警察官の仕事の内容や魅力を生の声でアピールし、志望者の増加を図ってはどうか。 ○　現在の社会情勢に鑑み、女性の採用拡大を図る方策についての検討も併せてお願いしたい。 ○　民間企業でも採用に苦戦しており、優秀な人材を確保するために多くの予算を費やしている。 　警察も同様に、優秀な人材を採用するための予算措置を講じ、広告、宣伝等を展開する必要があると思われる。 ２　災害時における警察署代替施設の選定 ○　現在、若松区では少子化による児童の減少で小学校の統廃合、合併が予定されている。

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要
空教室または空校舎になる学校施設の利用を検討してはどうか。 ○　若松区の標高が高い位置に建つ県立高校は、歴史があり、建物も堅牢で同窓会館を有していることから代替施設として適当と思われる。 ○　若松区は東部地区では海に面し、山沿いに家屋が密集していることから災害発生のリスクが高いが、西部地区は比較的災害が少ないと思われる。 近年開発が進んでいる学研都市の企業や教育施設等は、危機管理上必要な設備や会議室を有しており、被災した外国人留学生をサポートし、工学系の教職員の知識を共有するという観点からも、留学生を擁する大学等の施設利用を検討してはどうか。 ○　警察業務を継続するためには非常用電源、バックアップ電源を有する施設が適当と思われる。 若松区役所では各階に非常用電源を設置していることから、上層階の使用を検討してはどうか。 【署長総括】 警察官採用受験者の募集方策については、今後の組織の存続に係る大変重要な問題と認識している。 市民の安全、安心を確保するため、本日の御意見を参考に今後も優秀な人事の確保に向け、組織を挙げ創意工夫を凝らした活動を展開したいと考えている。 災害時における警察署代替施設については、小学校の統廃合等地域の現状を考慮し、今後も検討を重ねる。 若松警察署は明治２２年に開設し、その後数回移転しているが、これまで被災して代替施設を利用した例はない。 しかし、今までに想定していなかった大規模災害が発生する可能性を視野に入れ、御教示いただいた施設等について検討を重ね、施設の選定を行いたいと考えている。 本日は貴重な御意見を賜り感謝するとともに、引き続き若松警察署運営及び警察活動への御理解と御協力をお願いする。 【質疑応答等】 ○　委員から「小学校の統廃合により、通学路が今後変更になることから、登下校の見守り活動についても変更が予想される。新たな通学路では、以前不良少年の溜まり場となっていた箇所を通行することから、現在の状況についてお尋ねしたい」旨の質疑があり、署長から「現在では、不良行為少年の溜まり場との報告はないが、人通りが少なく、人の目が行き渡らない箇所については、地域の方と協働して見守り活動を行い、児童の安全の確保に努めたい」旨の回答があった。 ○　委員から「不良行為少年の定義についてお尋ねしたい」旨の質疑があり、生活安全課長から「飲酒、喫煙、深夜徘徊等の行為を行う年齢１８歳以下の少年を言う」旨の回答があった。

（Ａ４）

様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その２）

議　事　概　要
○　委員から「特別法犯とは何を指すのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「刑法犯以外の犯罪を言い、具体的にはストーカー規制法、軽犯罪法など刑法犯で問疑できない犯罪を取り締まるための法律を言う。」旨の回答があった。 ○　委員から「阪神・淡路大震災では、日本人だけではなく多くの外国人も被災した。外国人は英語が理解できると思われがちだが、英語が話せず「やさしい日本語」であれば理解できる外国人、日本語は理解できないが「簡単な英語」であれば理解できる外国人もいる。 　災害発生後、各種の情報があっても言葉の壁により取り残される事態とならないよう配慮をお願いしたい。」旨の意見があった。 以　上

（Ａ４）